

つなぐ

令和4年7月20日
校長 笹谷 真理子

がんばった一学期が終わりました。



今日で一学期が終わります。授業日数72日間です。

4月に入学、進級した子どもたちの一学期間の様子はいかがだったでしょうか？

学校では、学校経営ビジョン『みんなが幸せになる学校』をめざし、「あいさつ」「そうじ」「ペア学年との交流」など、子どもたちのいい姿をたくさん見ることができました。

高学年のリーダーシップは素晴らしく、朝のあいさつ、そうじ、花の水やり、換気や手洗いを呼びかける放送、熱中症への注意喚起、安全を呼びかけるポスター、見回り活動・・・学校をひっぱってくれる姿をととても頼もしく思いました。その姿に憧れ、親しみを持つ低学年も多く、すすんであいさつ運動やおそうじ隊となり、がんばってくれていました。

お子さんと向き合う時間を

そんな中で、お子さんの様子を心配されている保護者の方もいらっしゃると思います。お子さんが何に困っているのか気づいてあげること、思いを聞いてあげることが私たち大人にできる大切なことだと思っています。

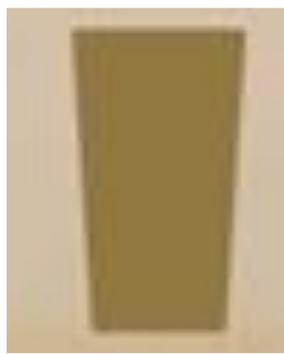
明日から、41日間の長い夏休みが始まります。お忙しいことと思いますが、ぜひ、お子さんとの時間を十分とっていただき、お子さんの心と向き合っていただけたらと思います。ご相談したいこと等ありましたら、学校にお知らせください。

時間を大切に 有意義な夏休みを！

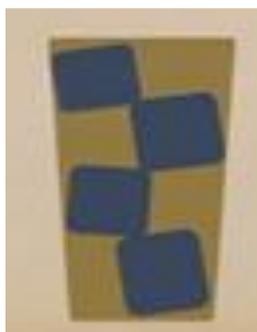


今日、終業式で、子どもたちにこんな話をしました。有名なお話です。

①これはつぼです。



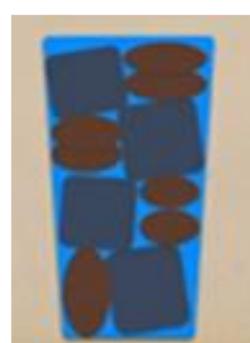
②大きな岩を入れます。



③次に、小さな石や砂を入れます。



④最後に、水を入れて、つぼはいっぱいになりました。



このお話で伝えたいことは何でしょう。

まず、わかるのは

大きな岩を先に入れない限り、その岩をつぼにすべて入れることができないということです。

つぼが「夏休み」だとしたら、あなたにとって、大きな岩は何でしょう？

大きな岩は、「自分の成長につながる探究学習や宿題、読書、大切な家族との体験、チャレンジすること」であってほしいです。小さな石や砂は、あなたにとってあまり大切なこと、例えばボーッとテレビを見たりダラダラしたりする時間。時にはそんな時間も必要かもしれませんが、そればかりでは小さな石や砂で、つぼがいっぱいになり、大きな岩、大切なことが入らなくなってしまいます。

つぼに入る量は決まっています。夏休みは長いですが、限りがあります。

限りある時間（夏休み）を、自分の成長につながる「大きな経験」で、いっぱいにしてほしいです。

あなたはこの中に何を入れますか？



重要! 学校閉庁期間（8/11～17）の緊急連絡について

8/11(木)～17(水)は学校閉庁期間で、学校の電話がつながりません。下記の連絡については、コドモンでお願いいたします。必要に応じて、折り返し等対応させていただきます。

- コロナ感染及び濃厚接触者となった時
- 事故、事件に遭われたとき
- 病気、けが等の入院
- その他、緊急を要すること



保護者の皆様へ

1 学期間、本校の教育活動に御理解ご協力をいただき、ありがとうございました。新型コロナウイルス感染症の第7波が心配されています。石川県内小中学校での感染拡大も耳にします。日常が戻り始め、楽しい夏休みが迎えられと思った矢先の流行となりました。夏休み中も感染対策に十分気をつけて、お過ごしください。また、熱中症、事故等でのケガや病気にも十分お気をつけください。

2 学期もどうぞよろしくお願いいたします。